

平成 17 年 11 月 15 日

各位

会 社 名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
代 表 者 取締役社長 大坪 愛雄
コード番号 6674
問合せ先 執行役員財務統括部長 岩岸 軍次
(TEL.075-312-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 17 年 5 月 27 日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 27 日発表)	2,300	500	300
今回修正予想(B)	3,200	1,800	1,200
増減額(B - A)	900	1,300	900
増減率	39.1%	260.0%	300.0%
前期(平成 17 年 3 月中間期)実績	2,221	531	262

2. 平成 18 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 27 日発表)	110,000	2,000	0
今回修正予想(B)	112,500	900	500
増減額(B - A)	2,500	1,100	500
増減率	2.3%	-	-
前期(平成 17 年 3 月中間期)実績	111,277	3,020	10,052

3. 平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 17 年 5 月 27 日発表）	5,000	2,000	1,000
今回修正予想（B）	6,000	3,400	2,000
増減額（B - A）	1,000	1,400	1,000
増減率	20.0%	70.0%	100.0%
前期（平成 17 年 3 月期）実績	5,002	1,777	982

4. 理由

(1) 単独の業績

持株会社である単体の売上高は、主たる売上高である子会社からの経営指導料収入の増加や、当初の業績予想で織り込んでいなかった子会社からの配当金（約8億円）を売上高計上することに伴い、中間期並びに通期ともに予想額を修正します。同じく経常利益、中間(当期)純利益につきましても、上記売上高修正要因に加え、更なる経費の削減効果もあり、予想額を修正します。

(2) 連結の業績

中間期の連結売上高は、国内の産業鉛電池関係の需要増に加え、施設照明関係も好調に推移したこと等により、当初の予想を上回る見込みです。また、連結中間経常利益は、上記増販効果に加え、経営統合に伴う事業再編効果や本年5月27日発表の構造改革計画諸施策取り組みの促進もあり、当初予想を上回る見込みです。一方、連結中間純利益は、上記連結中間経常利益が上回りましたものの、高槻事業所(古曽部地区)再開発に伴う関連費用として当該地区の土壌改良費（約15億円）を引当計上することもあり、経常利益変化幅より減少する見込です。

尚、通期の業績予想につきましては、中間期の業績予想の修正はありますものの、鉛など主要原材料価格の更なる上昇リスクに加え、構造改革計画推進途上ということもあり、売上高、経常利益、当期純利益いずれも前回予想通りとし、構造改革計画の公約数字の実現を図る所存です。

以上